

資料 3 「令和 4 年度の教育・保育施設及び特定地域型保育事業（所）の利用定員等一覧（案）」における補足資料

【資料内容について】

昨年12月23日に子ども育成分科会が開催され、令和4年4月に新たな認可や定員変更を行う施設などに関する審議した結果を反映した施設等の一覧です。

令和4年4月1日の予定であるため資料の表題には（案）を付していますが、子ども育成分科会は本案を了承しております。

【資料の見方】

左から現行プランで定めた区域名、施設名と、その右には令和3年度末の施設類型、認可定員、利用定員を記載し、その隣には令和4年度当初での同様の内容を記載しています。

さらに一番右の「増減」欄では、令和3年度末と令和4年度当初の増減を記載しています。

一覧の中で色を塗っている施設は、令和4年度に何らかの変更がある施設になります。

（色の区分）

・緑色の網掛け

定員が増減する施設を表しており、5番の「のぼら保育園」以下、計18施設（18には分園の新設・廃止を含む）が何らかの定員増減を行う予定です。

・黄色の網掛け

類型を変更する施設を表しています。55番「（仮）長井こども園」は保育所から幼保連携型認定こども園へ、73番「（仮）認定こども園ぎんなん幼稚園」は幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行をする施設になります。

・青色の網掛け

新規を表しています。令和4年度の新規は40番「（仮）ぶぶぶ保育室」、41番「横須賀市立中央こども園」、64番「（仮）はすのみ保育室」となります。

・紫色の網掛け

廃止する施設等を表しており、17番「上町保育園」、18番「鶴が丘保育園」、36番「諏訪幼稚園」、63番「かるがも保育室」の4施設となります。

【総括】

1号から3号の利用定員の合計が令和3年度末と比べ、令和4年度では124人減となる予定です。そのうち2号・3号認定のいわゆる保育の利用定員は令和3年度末に比べ61人

増の4,763人となる予定です。

この令和4年度の利用定員は、第2期横須賀子ども未来プランの3年目の確保方策にあたるもので、予定していた計画数値を下回った結果となっております。

今後は第2期横須賀子ども未来プランを着実に実施し、子育て世帯の教育・保育ニーズに合った利用定員を確保していきたいと考えています。